

消防局 平成27年度 局運営方針（案）

1. 主な現状と課題

東日本大震災以降も首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生が懸念されており、また、大型台風や局地的集中豪雨等の大規模災害により各地で甚大な被害が発生しました。さらに特殊災害や人為的事故、東京オリンピック・パラリンピック開催を控え国際的なテロ災害の発生が危惧されるなど災害の態様も複雑多様化し、全国的にも市民の安心・安全に対する危機感が高まっている中、本市としても、市民の生命と財産を守るため、災害に強い都市の構築を進めています。

- ・ 火災や救急をはじめとして、大規模災害や各種災害に迅速かつ確実に対応できる消防体制を確立し、適切に運営していく必要があります。
- ・ 発生した災害等に的確に対応し、被害の軽減を図っていく必要があります。
- ・ 高齢化の進展等による救急需要に対応し、救命効果の向上を目指す必要があります。
- ・ 地域防災の中核的存在である消防団を充実強化していく必要があります。
- ・ 市民・事業者の防火防災意識を高揚させることにより、火災の予防や災害による被害の軽減を図る必要があります。
- ・ 職員の大量退職・大量採用期に際し、研修等による職員の資質の向上や安全管理・健康管理を図っていく必要があります。

(1) 消防体制の充実強化

火災や救急をはじめ、近年発生している大規模災害や複雑多様化する各種災害に迅速かつ確実に対応できる消防体制づくりが課題となっています。

ア 人口、道路状況、災害発生状況等の実情に応じた適正な消防署所の整備を計画的に行う必要があります。

「さいたま市消防力整備計画」（平成23年8月策定）による消防署所の整備
 消防力整備計画では、平成32年度までの整備目標（基準）を26署所とし、新設1署、移転2所、建替を2署（建替移転を含む。）としている。

【消防署所の整備実施状況】

消防署所	計画	整備実施状況
大宮消防署氷川参道出張所	移転	平成23年9月供用開始
緑消防署	移転	平成28年2月供用開始予定
(仮称)見沼区片柳地区消防署	新設	平成31年度供用開始予定
岩槻消防署	建替(移転)	平成32年度供用開始予定
岩槻消防署太田出張所	移転	平成33年度供用開始予定
岩槻消防署上野出張所	移転	平成32年度までに事業着手予定
中央消防署	建替	検討中※

「さいたま市消防力整備計画」に基づき整備する署所

※「与野本町駅周辺地区マスタープラン」にて地区内の公共施設とともに再編の方向性を決定する。

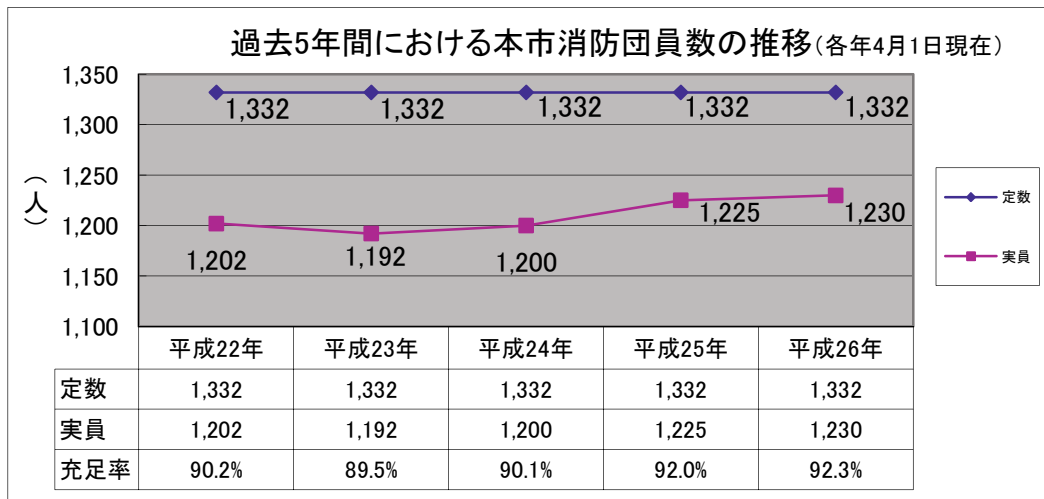


大宮消防署氷川参道出張所



(仮称)緑消防署等複合施設完成イメージ図

- イ 地震等大規模災害の発生が危惧されている中、地域防災の中核的存在である消防団の活動を効果的、効率的に実施するため、地域の災害拠点としての機能を果たせるよう消防団車庫を計画的に整備し、消防団員を確保するとともに、消防団員の安全確保と活動能力の向上を図るため、通信体制及び資機材の整備を行う必要があります。
- また、消防団員確保のためには、処遇改善及び広報対策を充実強化していく必要があります。



(2) 消防通信体制の充実強化

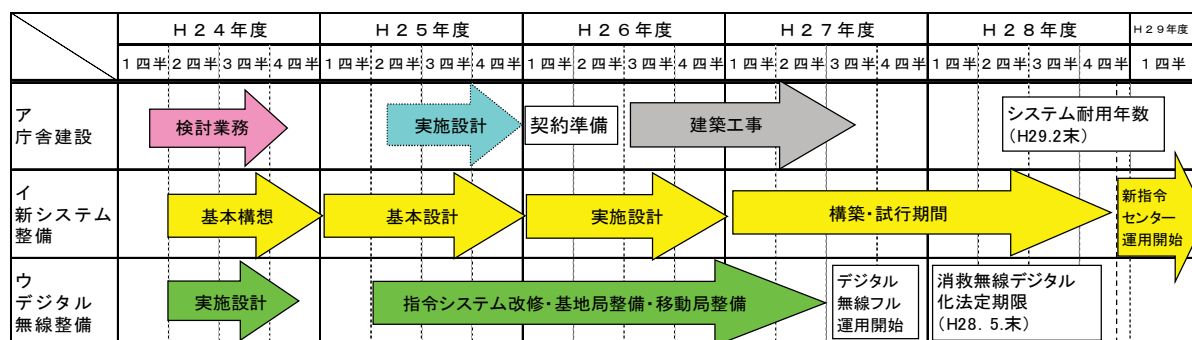
市民と消防を繋ぐホットラインである119番通報の受信をはじめ、消防活動時に重要な情報収集や伝達などに必要となる消防通信体制を充実強化していく必要があります。

ア 平成29年2月末に耐用年数を迎える消防緊急情報システムについて、間断なく119番通報受信を行うためには、新システムを整備するまでの間、現行システムを切替直前まで運用する必要があることから、新たに新指令センター庁舎の建設を行う必要があります。

イ 首都直下地震など、今後、想定される大規模災害に備えて、119番通報受信能力を倍増させるなど、機能を強化した新消防緊急情報システムを整備する必要があります。

ウ 消防業務で使用する消防救急無線の全ての機器を電波法令で定められた期限となる平成28年5月末までにデジタル方式に移行整備する必要があります。

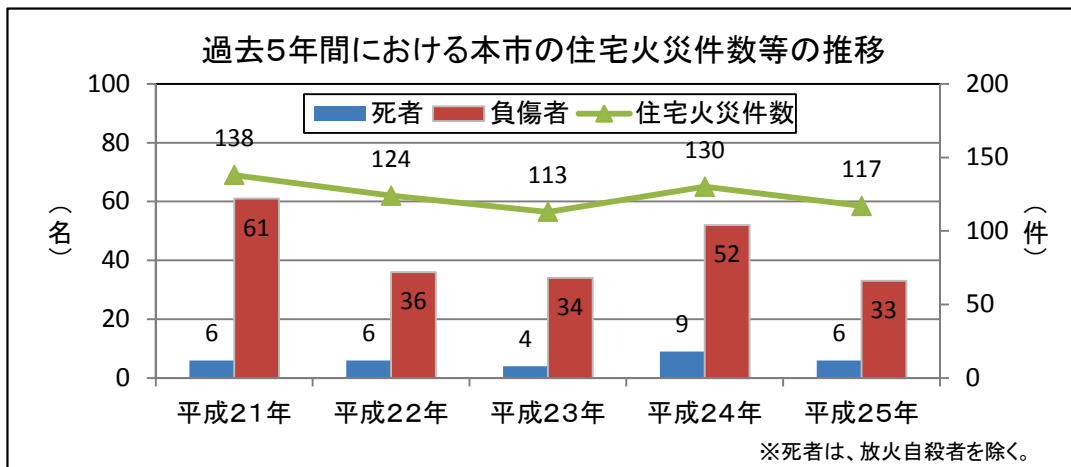
〔新指令センター等整備スケジュール〕



(3) 市民・事業者の防火防災意識の高揚

災害に強い都市づくりの実現に向け、住宅防火モデル地区指定事業をはじめとし、住宅火災の早期発見、逃げ遅れの防止に有効な住宅用火災警報器の設置促進、維持管理等、各種住宅防火に関する取組が重要となっています。

さらに、防火対象物及び危険物施設における火災、事故の発生予防並びに被害を軽減させるため、違反对象物の公表制度の実施や予防技術資格者の育成等、職員の知識・技術を向上させ、査察体制の充実強化を図る必要があります。

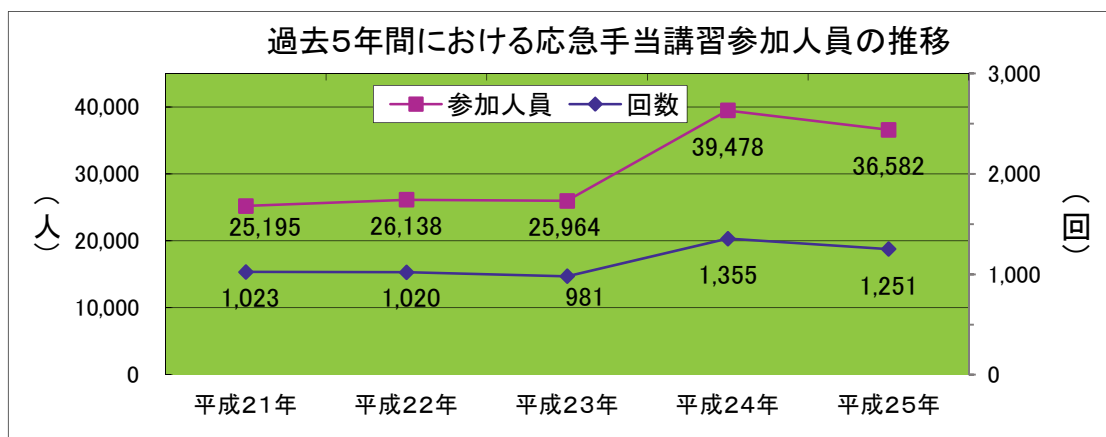


(4) 応急手当実施率の向上

救急車の要請から現場に救急隊が到着するまでには、約8分（平成25年中）かかりますが、この間、救急現場に居合わせた市民による適切な応急手当が行われることにより、傷病者の救命効果を高めることができます。

また、本市における心肺停止例は、約70%が自宅内で発生していることから、1世帯に1名、応急手当の知識と技術を身に付けた家族を育成することが重要です。

こうした状況を踏まえ、市民が応急手当講習を受講しやすい環境の整備と講習用資器材の充実を図り、応急手当実施率の向上に取り組んでいく必要があります。



(5) 人材育成の推進

少子高齢化、財政状況の悪化、地方分権の進展等を背景に、職員一人ひとりに仕事の質の向上が求められることに加え、職員の大量退職、大量採用の影響により、専門的な知識や技術の伝承が急務となっています。

これらの状況並びに複雑多様化する各種災害等への対応を図るため、効果的な研修を積極的に行い、人材育成を推進していく必要があります。

2. 基本方針・区分別主要事業

大規模化、複雑多様化する災害に対応できる消防体制をつくるため、消防署所、消防団車庫や消防通信体制の整備を行います。さらに、市民・事業者の防火防災意識や市民の応急手当実施率について、関連事業を通してさらなる高揚・向上を図ります。また、人材育成を主眼とした職員研修を行います。

(1) 消防体制の充実強化のため、必要な消防力を計画的に整備します。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
1	総	消防力等整備事業 〔消防企画課、消防施設課〕	1,052,506 (363,180)	1,809,720 (476,720)	災害に迅速かつ確実に対応する消防体制の充実強化のため、(仮称)見沼区片柳地区消防署の建設基本設計、岩槻消防署の用地取得及び(仮称)緑消防署等複合施設の建設工事を実施
2	総 倍	消防団充実強化事業 〔消防総務課、消防施設課、警防課〕	301,544 (173,537)	317,699 (158,489)	消防団車庫及び資機材の整備、消防団員の確保に係る広報、啓発の実施

(2) 消防通信体制の充実強化を目指します。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
3	拡 総	新指令センター整備事業 〔消防施設課〕	560,626 (145,826)	414,795 (104,895)	市民と消防を繋ぐホットラインである119番通報の受信をはじめ、消防通信体制を強化するため、新消防緊急情報システム構築を目的とした、指令センター庁舎を整備
4	総	通信指令体制整備事業 〔指令課システム企画室〕	166,388 (28,388)	760,518 (87,518)	消防救急デジタル無線移動局整備及び新消防緊急情報システム調達

(3) 市民及び市内事業者の防火防災意識の高揚を図ります。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
5	拡 総	火災予防対策推進事業 〔予防課・査察指導課〕	5,633 (3,715)	5,339 (3,874)	住宅防火モデル地区指定事業をはじめとし、高齢者家庭防火訪問などの住宅防火対策及び放火火災防止対策の推進、法令改正対応及び違反是正を図るための査察体制の充実強化

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画後期基本計画実施計画事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業
成…成長戦略事業 行…行財政改革推進プラン2013事業

(4) 応急手当実施率の向上を目指します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
6	拡 総	応急手当普及啓発事業 〔救急課〕	5,044 (5,044)	4,729 (4,729)	応急手当普及啓発に係る資器材の整備

(5) 『人材育成』を主眼とした職員研修を実施します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
7	拡	職員研修事業 〔消防職員課〕	52,230 (52,230)	51,677 (51,677)	消防職員に対する研修派遣経費

3. 見直し事業一覧

(単位:千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
救急課	救急搬送に係る記録書類の見直し	救急搬送に係る記録書類の書式を見直し、経費を削減する。	△ 350
予防課	住宅防火広報用印刷物の見直し	住宅防火広報用冊子の統合やサイズの見直しにより印刷経費を削減する。	△ 345

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防業務推進事業		予算額	9,567
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	- 一般財源 9,567
<事業の目的・内容> 消防局の表彰事務、文書事務等を、円滑かつ効率的に執行するための管理運営を行います。 また、(仮称)緑消防署等複合施設の開所に伴い式典等を行います。		前年度予算額	8,198
		増減	1,369
<主な事業> 1 消防業務の推進 8,228 表彰事務、局共通の郵便料等の執行管理を始めとする文書事務など、消防局の管理運営を行います。			
2 緑消防署等複合施設開所に伴う式典開催等事業 1,339 (仮称)緑消防署等複合施設の開所に伴い、式典等を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防局運営事業		予算額	132,327
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	- 一般財源 132,327
<事業の目的・内容> 消防局及び消防署所の執務環境を維持するための複写機や仮眠用寝具の借上げ、消防活動に必要な防火服を含む消防活動用被服等の調達を行います。		前年度予算額	138,716
		増減	△ 6,389
<主な事業> 1 執務環境の維持管理 25,487 [参考] 消防行政の円滑化を図るために、消防局及び消防署所の執務環境の維持に必要な、複写機や仮眠用寝具の借上げ、共通備品の払出し等を行います。			
2 事務・活動環境の維持管理 106,840 事務執行に必要な消耗品の調達や、消防活動を安全かつ円滑に遂行するための消防活動用被服等の給貸与、救急活動に必要な通信費用の管理を行います。			



消防活動に必要な防火服等

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防署運営事業		予算額	6,639
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	- 一般財源 6,639
<事業の目的・内容> 消防署所における、消防事務の執行、適正な執務環境の維持に必要な物品の調達等を行います。		前年度予算額 6,897 増減 Δ 258	
<主な事業>			
1 消防署所の執務環境の維持管理		6,639	
消防署所における執務環境を維持するため、24時間の勤務体制に必要な消耗品・庁用備品の調達を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防企画管理事業		予算額	119,892
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	22款 市債 88,000 - 一般財源 31,892
<事業の目的・内容> 火災・救急をはじめ、大規模化、多様化する災害に対し、的確かつ迅速に対応するため、消防力の充実強化を図ることを目的に、「さいたま市消防力整備計画」を定め、これに基づき、災害活動拠点施設となる消防署所の整備を進めるものです。 また、消防法に定められている消火、救助、救急活動等に起因する損害賠償保険に対応する事務を行います。		前年度予算額 193,864 増減 Δ 73,972	
<特記事項> 消防力整備計画に基づき、消防署整備に伴う用地取得を行います。			
<主な事業>			
1 消防署所の整備		118,372	[参考]
岩槻消防署移転整備に伴う用地取得等を行います。			
2 損害賠償事務		1,520	
消防業務遂行に係る損害賠償保険に加入します。			
			
		消防署所整備	消火活動
			
		救急活動	救助活動

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員研修事業（消防職員課）		予算額	52,230								
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔財源内訳〕									
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	- 一般財源 52,230								
<事業の目的・内容> 職員が、職務の遂行上必要な知識、技術等を修得し、更に市民ニーズに応えられる職員の育成を図ることを目的として消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。		前年度予算額	51,677								
		増減	553								
<主な事業> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">1 研修事務</td> <td style="text-align: right;">51,872</td> <td colspan="2">自己能力、実務能力及び知識の向上のため、各種研修を実施します。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">2 安全運転管理事務</td> <td style="text-align: right;">358</td> <td colspan="2">職場における安全運転を確保するため、安全運転管理者を選任し、安全運転の徹底を図ります。</td> </tr> </table>				1 研修事務	51,872	自己能力、実務能力及び知識の向上のため、各種研修を実施します。		2 安全運転管理事務	358	職場における安全運転を確保するため、安全運転管理者を選任し、安全運転の徹底を図ります。	
1 研修事務	51,872	自己能力、実務能力及び知識の向上のため、各種研修を実施します。									
2 安全運転管理事務	358	職場における安全運転を確保するため、安全運転管理者を選任し、安全運転の徹底を図ります。									

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員管理厚生事業		予算額	11,485								
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔財源内訳〕									
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	21款 諸収入 36								
<事業の目的・内容> 職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することにより、市民に安心して暮らせる環境を整備することを目的に、局内の衛生管理、職員の予防接種の推進等について事業を実施します。		- 一般財源	11,449								
		前年度予算額	11,595								
		増減	△ 110								
<主な事業> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">1 衛生管理事務</td> <td style="text-align: right;">6,926</td> <td colspan="2">局内各安全衛生委員会に係る産業医を選任し、衛生管理について実施します。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: yellow;">2 予防接種の実施その他</td> <td style="text-align: right;">4,559</td> <td colspan="2">消防力を低下させないため、伝染及び感染のおそれがある各種疾病に対し、予防接種を実施します。</td> </tr> </table>				1 衛生管理事務	6,926	局内各安全衛生委員会に係る産業医を選任し、衛生管理について実施します。		2 予防接種の実施その他	4,559	消防力を低下させないため、伝染及び感染のおそれがある各種疾病に対し、予防接種を実施します。	
1 衛生管理事務	6,926	局内各安全衛生委員会に係る産業医を選任し、衛生管理について実施します。									
2 予防接種の実施その他	4,559	消防力を低下させないため、伝染及び感染のおそれがある各種疾病に対し、予防接種を実施します。									

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備運営事業		予算額	960
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	－ 一般財源	960
<事業の目的・内容> 全国消防長会は、消防組織相互の融和協調を図り、消防の情報を交換して採長補短するとともに、消防制度及び技術の総合的研究を行い、もって日本消防の健全なる発展に寄与することを目的として組織され、さらに、消防行政を取り巻く諸情勢へ対処すべく、7つの事業推進委員会が設置されており、各委員長は政令指定都市から選任され、本市は、「技術委員会」委員長都市を担うこととなっています。		前年度予算額 622 増減 338	

<主な事業>

1 全国消防長会事業への参加 960 [参考]

全国消防長会技術委員会及び同委員会の常任委員会を各1回開催します。

なお、技術委員会及び常任委員会は、委員会の申合せにより開催支部(地方地区)での輪番制が決定しています。



第92回 全国消防長会技術委員会 (大阪府泉佐野市)

技術委員会

区分	回	開催年月日	開催場所	開催消防本部
1 北海道支部	91	平成25年5月23日	網走市	網走地区消防組合消防本部
2 近畿支部	92	平成26年5月15日	泉佐野市	泉州南消防組合泉州南広域消防本部
3 九州支部	93	平成27年5月14日	八代市	八代広域行政事務組合消防本部

常任委員会

区分	年度	開催年月日	開催場所	開催消防本部
1 東海支部	25	平成25年11月7日	半田市	知多中部広域事務組合消防本部
2 東北支部	26	平成26年11月13日	五所川原市	五所川原地区消防事務組合消防本部
3 四国支部	27	平成27年10月22日	南国市	南国市消防本部

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害対策事業		予算額	500
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	－ 一般財源	500
<事業の目的・内容> 消防の広域援助体制として「緊急消防援助隊」が法制度上明確化され、本市では現在41部隊を緊急消防援助隊として登録しています。 派遣部隊は、ライフラインが寸断された被災地において、72時間以上活動することを可能とするために必要な輸送・補給活動等を行うことを求められているところであり、出動の求めに即応する態勢を整備します。		前年度予算額 500 増減 0	

<主な事業>

1 広域消防応援に要する物品等の調達 500 [参考]

緊急消防援助隊が、被災地において迅速、且つ効果的な活動を行うために必要な、物品等の調達や被災地における、燃料の確保を行います。

- ・ 広域消防応援用消耗品費
- ・ 広域消防応援用燃料費
- ・ 広域消防応援用食糧費

<本市の出動実績>

- 平成15年9月 出光興産北海道製油所原油貯蔵タンク火災
- 平成16年7月 新潟県・福島県豪雨災害
- 平成16年10月 新潟県中越地震
- 平成20年6月 岩手・宮城内陸地震
- 平成23年3月 東日本大震災
- 平成25年10月 台風26号による大島町土砂災害



台風26号(平成25年)における緊急消防援助隊の活動状況 (東京都大島町)

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 警防業務推進事業		予算額	33,251
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	- 一般財源 33,251
<事業の目的・内容> 社会構造の発展による都市構造の変化や市民の生活様式の変化に伴い、年々多様化する消防への市民ニーズを的確に把握し、より高度かつ先進的な消防体制の構築のため、教育訓練を実施し、部隊活動能力の向上を図るとともに、計画的に装備の充実を図ります。		前年度予算額	33,168
		増減	83
<主な事業> 1 消防部隊の育成・強化 3,013 [参考] 複雑多様化する災害に対応しうる精鋭な消防隊員を育成し、部隊活動の強化を図るため、各種訓練等を実施します。			
2 消防活動に必要な資機材の点検・整備 30,238 複雑多様化する災害活動に対応するため、各種資機材の点検・整備を行い、資機材を常時使用できる態勢を整え、迅速な消防活動を遂行します。		 消防隊員研修 (大宮消防署訓練場)	
		 集団災害対応訓練 (さいたまスーパーアリーナ)	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急業務推進事業		予算額	41,773
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	21款 諸収入 8,258
<事業の目的・内容> 救急活動に必要な資器材の充実を図るとともに、タブレット型情報端末機器を有効に活用した医療機関情報の把握など、的確な救急サービスを提供することで、市民の安心安全を確保します。 また、救急車の適正利用など救急需要対策を推進します。		- 一般財源	33,515
		前年度予算額	38,038
		増減	3,735
<主な事業> 1 救急資器材の維持管理 41,647 [参考] 安全確実な救急活動を行うため、救急自動車に積載している救急資器材の点検整備を実施するとともに、救急活動に使用する消耗品等の配備を行います。			
2 救急車の適正利用 126 救急自動車の適正な利用を促すため、ポスター等を活用した広報を実施します。		 救急自動車積載資器材	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急高度化推進事業		予算額	21,872
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	21,872
予算書P. 165 <事業の目的・内容> 市民等の救急要請に際して、高度な救急サービスを提供するため、病院前救護体制の強化を図ります。 また、市民に対する応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。		前年度予算額 21,335 増減 537	
<主な事業>			
1 病院前救護体制の強化	12,770	[参考]	
救急隊員の知識・技術の維持向上を図るとともに、救急救命処置範囲の拡大に伴う救急救命士の育成を推進します。			
2 AED等の維持管理	4,058		
消防庁舎及び消防自動車に配備しているAED等の維持管理を行い、救命効果の向上を図ります。			
3 応急手当普及啓発の推進	5,044		
市民や事業所などを対象とした応急手当講習及び応急手当指導員の育成を推進するとともに、視聴覚教材を取り入れた講習指導など、より市民が理解しやすい応急手当指導に取り組みます。			



応急手当講習の状況

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 指令業務推進事業		予算額	530,054
局/部/課	消防局/警防部/指令課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	530,054
予算書P. 165 <事業の目的・内容> 消防業務の基幹である消防緊急情報システム(指令システム・支援システム・画像伝送システム等)と無線設備の維持管理を行い、指令管制業務を確実に実施します。		前年度予算額 1,292,261 増減 △ 762,207	
<主な事業>			
1 消防緊急情報システムの維持管理	500,828		
消防緊急情報システムの維持管理を行うとともに、改修によりシステムの最適化を図ります。			
2 無線設備の運用保守	29,226		
指令センターと消防車両間等における消防・救急活動の情報伝達、指揮、連絡を円滑に行うため、無線設備の更新整備及び維持管理を行い、万全な通信体制を維持します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防システム推進事業		予算額	166,758
局/部/課	消防局/警防部/指令課システム企画室	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	22款 市債	138,000
	予算書P. 165	- 一般財源	28,758
<事業の目的・内容> 消防業務の根幹を支える消防緊急情報システムは、平成28年度に耐用年数を迎えることから、効率的な消防活動を継続させるため、東日本大震災の教訓を踏まえて最適なシステムを構築するとともに、現行システムからの確実な移行を行うものです。 また、消防救急無線については、電波法令の変更により平成28年5月末までにデジタル方式への移行を行う必要があることから、適切に移行整備を実施します。		前年度予算額	8,828
		増減	157,930
<主な事業>			
1 新消防緊急情報システムの整備		19	
新消防緊急情報システムは、指令センター装置のみならず、消防署所装置や消防車、救急車などの車両装置等、整備対象が多岐に渡ることから、平成27、28年度の2カ年で整備を進めます。			
2 消防救急デジタル無線の整備		166,739	
消防救急デジタル無線の整備は平成25年度から27年度までの3カ年継続事業であり、平成27年度については、前年度に引き続き移動局整備を継続するとともに、整備済の設備等の維持管理を行い、円滑な運用に資するものです。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 火災予防推進事業		予算額	34,617
局/部/課	消防局/予防部/予防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	34,617
	予算書P. 165		
<事業の目的・内容> 住宅防火対策を始めとした各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のための調査技術の向上を図るとともに、市民や事業所の火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。 また、積極的に消防広報を推進し、市民や事業所の火災予防に対する理解を深めます。		前年度予算額	34,790
		増減	△ 173
<主な事業>			
1 火災予防の推進		7,194	4 火災調査業務
幅広く火災予防の普及啓発を図るため、住宅防火対策を始めとした火災予防対策を推進します。			12,675
類似火災発生防止等を目的として、必要な資器材を整備し、火災原因を究明します。			
2 消防広報業務		10,492	
消防フェア、消防音楽隊等の消防広報を実施し、市民の火災予防に対する理解を深めます。			
3 防災センター防災展示ホールの運営		4,256	
市民が疑似体験を通じ、防災意識を高めるために防災学習施設の管理及び運営を実施します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 予防規制等推進事業		予算額	3,911
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	14款 使用料及び手数料	3,911
予算書P. 165 <事業の目的・内容> 消防法及び関係法令に基づき、建築確認に伴う消防用設備等設置に係る消防同意事務、危険物施設及びガス・火薬類の許可等の審査事務並びに防火対象物等への立入検査及び違反処理を行い火災予防の徹底を図ります。		前年度予算額 3,056 増減 855	
<主な事業>			
1 消防同意・検査等事務	1,491	4 査察違反処理事務	1,143
建築確認申請等の消防同意等に必要審査、消防用設備等の検査及び設置に関する指導並びに届出書の受付処理を行います。		防火対象物及び危険物施設への査察の企画立案及び立入検査を実施し、消防法令違反に対する警告、命令による違反処理を行います。	
2 危険物規制事務	1,044		
危険物施設設置に係る許可等の審査及び完成検査並びに危険物施設に係る届出の受付処理を行います。			
3 ガス・火薬類等規制事務	233		
液化石油ガス施設等の立入検査及び届出の受付処理を行います。火薬類の消費等の許可に必要な審査及び立入検査を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防団運営事業		予算額	234,256
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/2目 非常備消防費	21款 諸収入	33,543
予算書P. 167 <事業の目的・内容> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために報酬等の支給や活動環境の維持、団員確保対策等の各種事業を行います。また、自警消防団の運営を支援するため助成金を交付します。		- 一般財源	200,713
		前年度予算額 232,502 増減 1,754	
<主な事業>			
1 消防団組織運営の維持	50,665	4 消防団員を確保するための広報	569
消防団の円滑な運営及び活動環境維持のために、運営費の交付や公務災害補償に関する事務、消防団員研修等の管理事務を行います。		消防団員を増員確保するため、ポスター、リーフレット等を作成し、啓発活動を実施します。	
2 消防団員の処遇に係る報酬等の支給	177,724	5 消防出初式の開催	3,348
年報酬、災害出動等の費用弁償及び5年以上勤続して退職した消防団員への退職報償金の支給事務を行います。		消防団員の士気高揚を図り、消防行政に対する理解と信頼を深めることを目的として、消防出初式を開催します。	
3 自警消防団への助成	1,950		
市内に組織された自警消防団の運営に必要な助成金の交付事務を行います。			


(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等維持管理事業		予算額	571,982
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	14款 使用料及び手数料	132
<事業の目的・内容> 消防庁舎及び消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことにより、突発的な事故を抑制し、職場環境の安全性向上を図ります。		15款 国庫支出金	311
		17款 財産収入	28,341
		21款 諸収入	1,467
		- 一般財源	541,731
<特記事項> 公共施設マネジメント計画における修繕・工事等に着手します。		前年度予算額	524,530
		増減	47,452
<主な事業>			
1 消防施設の維持管理	236,153	4 中・大規模改修工事等	154,461
施設の維持に必要な消耗品の調達、光熱水費等の管理、敷地及び施設の維持管理を行います。		消防庁舎等の中規模修繕工事、大規模改修工事等に係る工事、設計及び調査を行います。	
2 消防施設の保守管理・法定点検	108,960	5 消防署整備用地の維持管理	1,750
建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、清掃、施設等の保守管理及び法定点検を行います。		(仮称)見沼区片柳地区消防署整備用地等の維持管理を行います。	
3 施設修繕	70,658		
災害対応及び防災の拠点施設となる消防庁舎の機能を維持するために必要となる維持管理・改修修繕を行います。			


(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等整備事業		予算額	1,648,148
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	15款 国庫支出金	7,855
<事業の目的・内容> 消防体制の充実強化及び消防署所を計画的に整備するため、(仮称)緑消防署等複合施設及び指令センター庁舎の建設工事、(仮称)見沼区片柳地区消防署の設計を行います。 また、消防団の充実強化に係る事業を推進するため、消防分団車庫の建設工事及び設計業務等を行います。		22款 市債	1,136,900
		- 一般財源	503,393
		前年度予算額	2,148,031
<特記事項> 前年度に引き続き(仮称)緑消防署等複合施設及び指令センター庁舎の建設工事を行うとともに、(仮称)見沼区片柳地区消防署建設工事の設計業務に着手します。		増減	△ 499,883
<主な事業>			
1 (仮称)緑消防署等複合施設の整備	892,688	4 (仮称)見沼区片柳地区消防署の整備	39,591
(仮称)緑消防署等複合施設の建設工事を行います。		(仮称)見沼区片柳地区消防署の設計業務等を行います。	
2 指令センター庁舎の整備	560,626	[参考]	
指令センター庁舎の建設工事を行います。			
3 消防分団車庫の整備	155,243		
別所分団車庫及び岩槻第2分団車庫の建設工事ほか、上木崎分団車庫及び柏崎分団車庫の設計業務等を行います。		指令センター完成イメージ図	

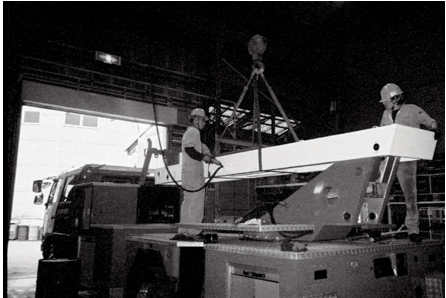
(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防水利整備事業		予算額	154,114
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	14款 使用料及び手数料	24
<事業の目的・内容> 消防水利の基準(消防庁告示第7号)に基づき耐震性防火水そう及び消火栓の設置を行うとともに、常時使用できるように維持管理を行います。		21款 諸収入	5,184
		22款 市債	54,600
		- 一般財源	94,306
		前年度予算額	99,550
		増減	54,564
<主な事業> 1 消火栓の設置及び消防水利の維持管理 52,421			
上水道配水管の新設及び布設替えに併せて消火栓の整備を行うとともに、既存の消火栓は常時使用できるよう適正に維持管理を行います。		4 耐震性防火水そうの整備等 88,243	
2 防火水そうの維持管理 9,732 市内に整備されている防火水そうの修繕及び防火水そう用地の維持管理を行います。		耐震性防火水そうの設置工事及び環境事前・事後調査を行います。また、平成28年度に整備する耐震性防火水そうの設計業務を行います。 [参考]	
3 消防水利黄線焼付修繕 3,718 消防水利の位置を示す黄線を引き直す修繕を行います。			
		防火水そう設置状況	


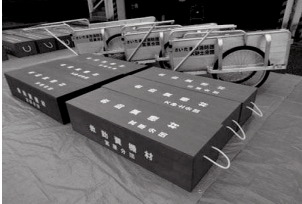
(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等維持管理事業		予算額	178,530
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	- 一般財源	178,530
<事業の目的・内容> 消防車両及び消防用資機材について、複雑多様化する各種災害に備え迅速確実に対応できるように、常に良好な状態を保つため維持管理を行います。		前年度予算額	181,570
		増減	△ 3,040
		<主な事業> 1 消防車両及び消防用資機材の維持管理事業 178,530	
消防車両及び消防用資機材の車検、点検、修理及びはしご車のオーバーホール等、装備の保全を行います。また、車両等の燃料購入、消耗した消防ホース及び泡消火薬剤の補填を行います。		[参考]	
<ul style="list-style-type: none"> 消防車の車検及び点検整備費 はしご車のオーバーホール費 リース契約自動車の年間契約費 老朽更新のための消防ホース購入費 泡消火薬剤の購入費 車検に伴う公課費 			
		はしご車オーバーホール状況	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等整備事業		予算額	462,248
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	22款 市債	449,100
	予算書P. 167	- 一般財源	13,148
<事業の目的・内容> 市民生活の安心・安全を確保するため、老朽化した消防車両を計画的に更新し、消防力の充実を図ります。 また、震災時に消防団が行う活動を強化させるため、震災対策用資機材の増強を図ります。		前年度予算額	26,228
		増減	436,020
<主な事業>			
1 車両整備事業	451,896	[参考]	
更新基準年数を超えた消防車両を更新します。 また、緊急自動車以外の車両については、リース契約可能な車両を更新時に切り替えて、リース契約します。			
2 消防団充実強化事業	10,352		
震災時に消防団が行う活動を充実させるため、震災対策資機材として、救助資機材、投光器一式及び救急資器材を計画的に配備します。			
			
		購入車両の納車状況	
			
			消防団震災対策用資機材